

## 4 発生抑制対策に係る事業

### 4.1 海外交流事業の計画・運営

#### 4.1.1 参加者への事前送付資料

## 2017年 東アジア地域漂着ごみ対策交流事業の概要

## &lt;目次&gt;

1 目的.....	1
2 参加団体.....	1
3 これまでの取り組み.....	2
4 2018年2月の交流事業について.....	3
5 行程表.....	4
6 実施内容.....	5
7 その他.....	8

## 1 目的

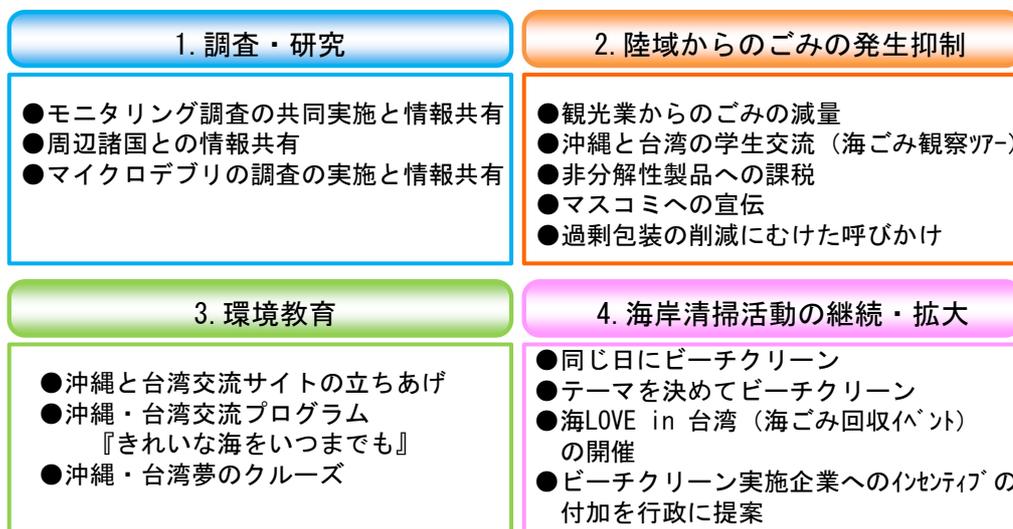
沖縄県内で見られる海岸漂着ごみは、その多くが海外由来であるものの、県内由来のものも含まれ、特に人口の多い地域では地元から発生したごみの割合が高くなる傾向にあります。したがって、海岸漂着ごみの発生抑制対策を進めていくためには、地域関係者の中で漂着状況とその対策方法を情報共有した上で、普及啓発・環境教育の取組推進が不可欠であり、更にはこれらを担う人材の育成と確保も必要になります。海岸漂着物の問題は、県内だけの問題に留まらないことから、近隣諸国との情報共有と連携を踏まえた対策を進めることも有効であると思われます。本事業は、参加各国が交流の成果をそれぞれが今後の環境教育や普及啓発等の活動に取り入れ、海岸漂着物の発生抑制を推進することを目的として実施します。

## 2 参加団体

沖縄からは沖縄県環境部環境整備課、沖縄県海岸漂着物の発生抑制対策ワーキンググループの構成員、台湾からは台湾行政院環境保護署、新北市、基隆市、花蓮県及び TOCA（台湾海洋クリーンアップ連盟）等が参加します。また、上海、福建の行政関係者、民間団体も参加します。

### 3 これまでの取り組み

2015年の交流事業では、以下のテーマ別に両地域間で共通して取り組みたい項目の抽出を行いました。テーマ別の主な項目は、図1のとおりです。



[平成26年度海外交流事業実施概要（日本語版）より作成]

図1 2015年沖縄・台湾漂着ごみ対策交流事業 共通課題から項目の抽出

2016年の交流事業では、このうち「海岸漂着物の調査・研究」と「環境教育」の2つのテーマに注目し、発生抑制をより具体的に進めるための方策について検討することとしました。これにより、以下の3点を決定しました。

- ①東アジア地域で同一手法による共同モニタリング調査を実施すること
- ②共同モニタリング調査では特に**ペットボトル、レジ袋、発泡スチロール**に着目し、結果を環境教育・普及啓発に活用すること
- ③共同モニタリング調査結果や環境教育事例等の情報共有のための**プラットフォーム（HP）を作成すること**、

2017年の交流事業では、モニタリング調査手法の決定とプラットフォームの内容について検討するとともに、「2. 陸域からの発生抑制」の取り組みとして「他業界への働きかけ」の可能性について検討を行いました。これにより、今後取り組んでみたい「他業界への働きかけ」の取り組み案を抽出しました。

#### 4 2018年2月の交流事業について

2018年の交流事業では、発生抑制対策の取り組みとして、「他業界への働きかけ」についての具体的な検討を行います。

沖縄県や台湾の海岸漂着物には、ペットボトルやプラスチック容器、ビニール袋など、多くのプラスチック類が見られます。2017年の交流事業では、今後取り組みたい項目として「他業界への働きかけ」が議論されました。今回はこのテーマのうち、特に「イベント等における使い捨てプラスチック容器の削減」についてのワークショップを実施します。

イベント等で使い捨てプラスチック容器の使用を削減する取り組みについては、イベントで販売される食品や飲み物の容器を、使い捨てのプラスチック容器からリユース食器に置き換えるといった取り組み事例があります。これらのイベントでは、ごみの大幅な削減に成功しています。

イベント等では、実施期間、対象物や対象者の範囲が限定されることから、その中で発生するごみの削減対策についての運営・管理が比較的容易であると考えられます。また、その効果を数値などで表すことも可能です。さらに、イベント等でごみ削減に取り組むことは、直接ごみの削減につながるほか、イベントが行われる地域や参加者に対する普及啓発の効果が得られます。これにより、普段はごみ問題に興味のない層にも気づきを与え、問題意識をもってもらうことができるなど、教育的な効果が同時に得られると考えられます。よって、2018年度の交流事業では、現在多くのイベントでごみ削減に取り組んでいる団体を招いてそのノウハウを共有し、ワークショップでは具体的な実施方法について検討します。これにより交流事業の参加者がそれぞれの地域で本事業での成果を参考に、ごみ削減に向けた更なる取り組みを実施することで、各地域の海岸漂着物の削減につなげることを目的とします。

表 1 2018年 東アジア地域漂着ごみ対策交流事業 実施項目

課 題	目 的	実施内容
調査・研究	それぞれの地域で共同モニタリング調査を実施し、調査データを環境教育や発生抑制等に活用する。	● 合同海岸調査
環境教育		● プラットホーム（HP）の作成についての経過報告
普及啓発	「他業界への働きかけ」についての検討	● 「他業界への働きかけ」についての意見交換

## 5 行程表

日 程		開 催 内 容
2/9 (金)	午後	オリエンテーション 13:30~17:00 (那覇空港国内線1階ミーティングルームA・B) <ul style="list-style-type: none"> <li>●開催趣旨、交流事業の説明 : 沖縄県</li> <li>●交流基本方針の説明 : 沖縄県</li> <li>●沖縄県の取り組み : 沖縄県</li> <li>●上海・福建民間団体の取り組み : 上海、福建民間団体</li> <li>●台湾政府・民間団体の取り組み : 台湾政府、台湾民間団体</li> <li>●JEANの取り組み : JEAN</li> </ul>
		歓迎会 17:30~19:30 (那覇空港国内線1階ミーティングルームA・B)
2/10 (土)	午前	合同海岸調査 8:00~14:00 (沖縄県本部町新里地区 新里地先の海岸)
	昼 食 (11:30~12:00) (沖縄県本部町新里地区 公民館)	
	午前	他業界への働きかけ 事例紹介 14:30~16:00 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター) <ul style="list-style-type: none"> <li>●リユース食器の普及啓発活動について : アースの会</li> <li>●台湾民間団体の取り組み : 台湾民間団体</li> </ul>
		フリートーク 16:10~16:40 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター)
2/11 (日)	午前	ワークショップ 9:00~11:30 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター) <ul style="list-style-type: none"> <li>●他業界への働きかけに向けた検討  <ul style="list-style-type: none"> <li>・「他業界への働きかけ」についての意見交換</li> </ul> </li> </ul>
		プラットホームについて経過報告 11:30~12:00 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター)
		昼 食 (12:00~13:00)
	午後	全体協議 13:00~16:00 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター) <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の交流事業の展開について</li> <li>・ロゴマーク コンテスト</li> <li>・交流事業の感想</li> </ul>

## 6 実施内容

### 6.1 オリエンテーション・歓迎会（2月9日）

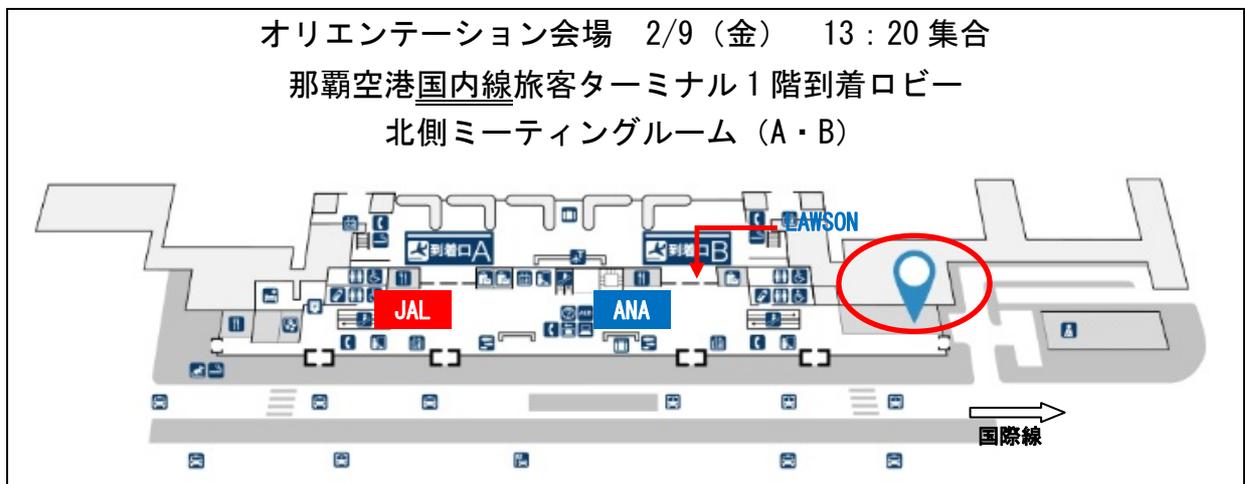
沖縄県より開催趣旨、交流事業の説明と、沖縄県のこれまでの取り組みの紹介、上海、福建、台湾からの参加各団体の紹介を行います。

オリエンテーション後には交流を深めるための歓迎会を実施します。

- 2/9（金）13：30 から那覇空港内ミーティングルームにおいて、オリエンテーションを開催します。13：20 までに会場に集合してください。

会場：那覇空港国内線旅客ターミナル1階到着ロビー北側ミーティングルーム（A・B）

- 昼食はオリエンテーション開始までに各自お済ませください。空路で参加される方はできるだけ那覇空港内で昼食をお済ませください。
- 那覇空港を離れる場合には事務局にお声掛けください。
- 会場には12時から入場可能です。会場内に荷物を置くことができます。また、飲食が可能なので、購入した昼食を会場内で食べることができます（ごみは各自でお持ち帰りください）。
- 歓迎会は、オリエンテーション終了後に同じ会場で行います。17：30までに会場に集合してください。
- 歓迎会では軽食をご用意します。
- （自家用車で参加される方のみ）那覇空港駐車場をご利用ください。出庫時に領収書をお受け取りになり、期間中（2/11～12）に事務局にお渡しください。精算いたします。



## 6.2 合同海岸調査と他業界への働きかけ事例紹介（2月10日）

### 6.2.1 合同海岸調査

沖縄県の海岸漂着物の現状を知るため、沖縄県本部町新里地区新里地先の海岸の見学を行います。

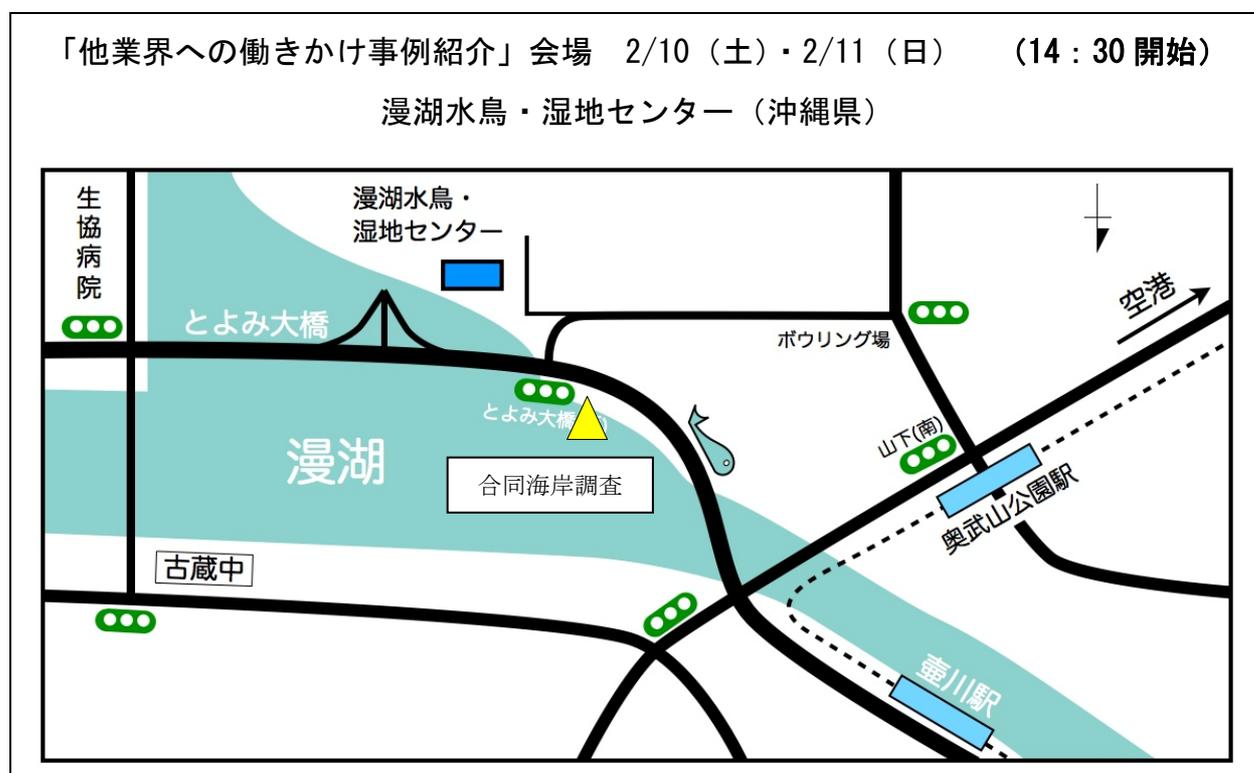
調査場所：沖縄県本部町新里地区 新里地先の海岸	
集 合：	
(WS 会場から乗車) 漫湖水鳥・湿地センター駐車場	7：30 集合
(宿泊される方) スマイルホテル沖縄那覇 フロント前	7：50 集合

時 間	行 程
7：50	スマイルホテル沖縄那覇 フロント前集合
8：10	バスに乗車、ホテル出発
10：00	合同海岸調査
11：30	昼食・休憩
12：00	バスに乗車、昼食会場出発
14：00	オリエンテーション会場 到着

- ホテル～見学場所～オリエンテーション会場まではバスで送迎します。
- 熱中症対策をした動きやすい服装でご参加ください。
- 昼食は事務局が用意します。
- 集合場所までの交通費（航空券代を除く）、駐車場代、高速代、宿泊費等の諸費用は、各自ご負担ください。



## 6.2.2 他業界への働きかけ事例紹介



## 6.3 ワークショップと交流事業の今後の展開について（2月11日）

- （宿泊される方のみ）ワークショップ会場まで乗合でタクシーをご利用いただき、漫湖水鳥・湿地センターまで移動してください。所要時間は 20 分程度です。集合場所及び時間は以下のとおりです。

集 合：スマイルホテル沖縄那覇 フロント前 8：30 集合

- （自家用車で参加される方のみ）漫湖水鳥・湿地センターに直接ご来場ください。漫湖水鳥・湿地センター駐車場（無料）をご利用ください。

集 合：漫湖水鳥・湿地センター 8：55 集合

## 7 その他

### 7.1 マスコミの同行、写真等の掲載について

- 当日はマスコミが同行し、取材する可能性があります。撮影、掲載等に不都合のある方は事前に事務局までご連絡ください。

### 7.2 (宿泊される方のみ) 宿泊施設情報

スマイルホテル沖縄那覇	
住所	沖縄県那覇市前島 3-24-1
URL	<a href="https://www.smile-hotels.com/okinawanaha/access.php">https://www.smile-hotels.com/okinawanaha/access.php</a>
TEL	098-866-8100
アクセス	沖縄都市モノレール(ゆいレール)美栄橋駅下車、徒歩7分
周辺地図	 A map of the area around Smile Hotel Okinawa Naha. The hotel is marked with a yellow circle and labeled 'スマイルホテル沖縄那覇'. The map shows the hotel's location relative to the 'ゆいレール' (Okinawa Urban Monorail) station '美栄橋駅' (Mieibashi Station) and the '前島' (Maeshima) area. Other landmarks include '泊心頭北岸船客待合所' (Maeshima North Pier Passenger Waiting Area), '泊渡嘉敷' (Maeshima Wadakaiki), '泊竜宮神' (Maeshima Ryūkyūgami), '泊ポートビル' (Maeshima Port Building), 'とまりん' (Tomarin), '前島北公園' (Maeshima North Park), 'ゲストハウスけらま' (Guest House Kera-ma), 'ホテルリソネックス那覇' (Hotel Risonex Naha), and 'ホテルルートイン那覇泊港' (Hotel Route Inn Naha Maeshima). The map also shows major roads like Route 58 and Route 29.
朝食	あり (7:00~9:30)

### 7.3 持ち物

- 印鑑（謝金及び交通費精算時に必要となります）
- 雨具（雨合羽の上下） ※2/10 合同海岸調査用
- 帽子（熱中症対策のため、必ずお持ちください） ※2/10 合同海岸調査用
- 動きやすい靴（干潮時に行くため、水中には入りません。） ※2/10 合同海岸調査用
- サングラス（必要な場合） ※2/10 合同海岸調査用
- （宿泊される方のみ）航空券（E-ticket）、着替え、洗面用具、常備薬等、宿泊滞在に各自必要なもの
- （準備可能な場合）団体の紹介資料（ポスター・印刷物等）
- ごみ削減のため、マイ箸、マイボトル（又はマイカップ）をご持参ください。

### 7.4 諸費用について

- 謝金及び旅費は沖縄県の規定に従ってお支払いいたします。
- （自家用車で参加される方のみ）2/9 オリエンテーション等参加のため、那覇空港駐車場を利用された場合、出庫時に領収書をお受け取りになり、期間中（2/9～2/11）に事務局にお渡しください。精算いたします。  
※2/10、2/11の「漫湖水鳥・湿地センター」駐車場は無料です。
- （宿泊される方のみ）2/9～2/10の宿泊費は事務局が精算いたします。ただし、ホテルで使用された外線電話、ルームサービス等の利用料金については、個人負担となりますので、各自チェックアウト時にお支払いください。
- （宿泊される方のみ）ホテルの朝食をご利用ください（無料）。2/10、2/11の昼食は事務局で用意いたします。それ以外の食事は各自でお済ませください。
- （空路で参加される方のみ）出発空港の駐車場を利用された場合、お帰りの際に領収書をお受け取りください。後日精算いたします。精算方法は改めてご連絡いたします。

### 7.5 緊急連絡先について

- 期間中（2/9～2/11）の緊急時には下記まで、ご連絡ください。

日本エヌ・ユー・エス株式会社			
江 俊賢	携帯		0952-609-536
野上大介	携帯①		080-9809-3891
	携帯②		090-1800-6707
後藤澄江	携帯		090-8034-1893

## 2017 年 東亞地區海洋垃圾對策交流事務概要

## &lt;目 錄&gt;

1 目的 .....	1
2 參加對象團體 .....	1
3 至今努力推行的活動概要 .....	2
4 關於 2018 年 2 月的交流事業 .....	3
5 行程表 .....	4
6 實施內容 .....	5
7 其他 .....	7

## 1 目的

沖繩縣於 2009 年起，運用日本政府補助金推動以瞭解海漂垃圾情況為目的進行之調查工作，並著手研擬解決方案，進行垃圾清運處理、避免垃圾產生之相關普及啟蒙活動和環保教育等多項工作。

儘管沖繩縣的海岸漂流垃圾當中，許多都是來自國外的垃圾，但來自縣內的垃圾也不少，尤其是人口較多的地區產生的垃圾，更是占了相當高的比例。有鑑於此，為了推動避免海漂垃圾產生的解決方案，需由地方相關人士針對海漂垃圾情況與解決方案共享資訊，而普及啟蒙及環保教育方面的計畫更是不可或缺，更重要的是必須培育及確保能夠擔此重任的人才。

此外，海漂垃圾不只是縣內的問題，如果能與鄰近國家建立起共享資訊與互惠合作的關係，據此合作基礎推動解決方案，將可大幅度提升執行效率。

本交流事務的目的在於把交流的成果反映至相關地區的環保教育與普及啟蒙等活動上，進而達成減少海洋垃圾產生的效果，希望各參與交流的地區都能實惠均霑、分享活動的成果。

## 2 參加對象團體

2017 年的交流事務參加團體如下。來自沖繩有沖繩縣環境部環境整備課、沖繩縣海洋垃圾產生減量對策 Working Group 成員；來自台灣則有台灣行政院環境保護署、新北市、基隆市政府、台灣清淨海洋行動聯盟（以下，TOCA）等團體。另外，來自上海與福建的行政單位人員與民間團體與會。

### 3 至今努力推行的活動概要

於 2015 年的交流事務中，依下列主題類別討論出兩地區想要共同努力推行的方案。各主題的主要方案如圖 1 所示。

1. 調查・研究	2. 減少陸地上產生的垃圾
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 共同實施監控調查及共享資訊</li> <li>● 與鄰近各國共享資訊</li> <li>● 實施微小垃圾調查及共享資訊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 減少觀光業的垃圾</li> <li>● 沖繩與台灣學生交流（海漂垃圾觀察行程）</li> <li>● 對非分解性產品課稅</li> <li>● 向媒體宣傳</li> <li>● 呼籲削減過度包裝</li> </ul>
3. 環境教育	4. 持續並擴大淨灘活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建立沖繩・台灣交流網站</li> <li>● 沖繩・台灣交流計畫 『永保美麗海洋』</li> <li>● 沖繩・台灣 夢之郵輪</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 同日進行淨灘活動</li> <li>● 舉辦具主題性的淨灘活動</li> <li>● 舉辦海 LOVE in 台灣（海漂垃圾回收活動）</li> <li>● 向行政單位提議給予實施淨灘活動的企業相關獎勵</li> </ul>

[由 2014 年度海外交流事業實施概要（日語版）製作]

第 1 圖 2015 年沖繩・台灣海洋垃圾對策交流事務 由共同課題中選出方案

於 2016 年的交流事務中，針對第 1 圖的「1. 海洋垃圾的調查・研究」跟「3. 環境教育」兩個主題在減少垃圾的產生上具體的對策進行協調、討論之後得到以下 3 點結論。

- ① 沖繩・台灣雙方以相同的方式進行海灘廢棄物監測調查。
- ② 海灘廢棄物監測調查的項目中，針對**寶特瓶**，**塑膠購物袋**，**保麗龍**做重點整理之後把改成果運用於推廣環保教育與普及啟蒙。
- ③ 建立海灘廢棄物監測調查的結果與環境教育的案例的**分享平台（網頁）**

2017 年的交流事務針對監測調查方式做出了定案並對分享平台的內容進行了討論。同時，為了推行「2. 減少陸地上產生的垃圾」主題，討論了「向其他業界推動」的可行性。

據此，選出了今後希望努力推行的、「向其他業界推動」的活動方案。

#### 4 關於 2018 年 2 月的交流事業

在 2018 年的交流事業中，作為抑制產生的對策，將對「向其他業界的推動」進行具體的研討。

在漂流至沖繩縣或台灣海岸的漂流物中，發現許多像寶特瓶、塑膠容器或塑膠袋等塑膠類。在 2017 年的交流事業中，曾對作為今後努力推行的方案---「向其他業界的推動」加以議論。這次在這個題目中特別舉辦了有關「減少活動等時用完就丟的塑膠容器」的 Work Shop。

有關在活動等時減少使用用完就丟塑膠容器方面的努力，曾有將活動中販賣的食品和飲料容器以重覆使用的餐具取代用完就丟塑膠容器的實例。在這些活動中成功地減少大量的垃圾。

在活動等中，因舉辦期間、當作對象的人和物的範圍都被限制住，所以有關如何減少活動中產生的垃圾之對策，都較易辦理和管理。另外，亦可將其效果以數值等呈現出來。並且，在活動等中推行垃圾減量，除了可直接減少垃圾，還可對舉辦活動的地區和參加者產生普及和啟蒙的效果。據此，也可讓平常對垃圾問題沒有興趣的階層注意到這個問題，並可讓他們產生問題意識等，可同時得到教育性的效果。因此，在 2018 年度的交流事業中，將邀請現在於許多活動中努力推行垃圾減量的團體共享其技術情報，並在 Work Shop 中研討具體的實施方法。據此，參加交流事業的人可在各自的地區參考本事業成果，更進一步推行垃圾減量，以達到減少漂流到各地區海岸的漂流物之目的。

第 2 表 2018 年東亞地區海洋垃圾對策交流事務 實施項目

課 題	目 的	實施內容
調查・研究	由沖繩、台灣以及中國實施共同海灘廢棄物監測活動，並將調查數據	●實施共同海岸調查
環境教育	活用於環境教育與減少垃圾產生的推廣活動上。	●分享平台（網頁）的建立 有關分享平台（網頁）的建立經過之報告
普及啟蒙	針對「向其他業界的推動」的討論	●「向其他業界的推動」的資訊交換

## 5 行程表

月 日		活 動 內 容
2018 年 2/9 (Fri)	下午	開幕式 13:30~17:00 (那霸機場國內線航廈 1 樓入境大廳北側會議室(A・B)) <ul style="list-style-type: none"> <li>●舉辦主旨，交流事務的說明 : 沖繩縣</li> <li>●交流基本方針的提案 : 沖繩縣</li> <li>●沖繩縣推行中的計畫 : 沖繩縣</li> <li>●上海・福建的活動簡報 : 上海・福建省行政單位 上海・福建省民間團體</li> <li>●台灣的活動簡報 : 台灣行政單位 台灣民間團體</li> <li>●JEAN 的活動簡報 : JEAN</li> </ul>
		歡迎會 17:30~19:30 (那霸機場國內線航廈 1 樓入境大廳北側會議室(A・B))
2/11 (Sat)	上午	共同海岸勘查 8:00~14:00 (沖繩縣本部町新里地區 周辺海岸 )
		中 餐 (11:30~12:00)
	下午	「向其它產業團體的推廣」的案例紹介 14:30~16:00 (豐見城市 漫湖水鳥・濕地活動中心) <ul style="list-style-type: none"> <li>●有關重覆使用的餐具之普及和啟蒙的活動:アースの会</li> <li>●台灣的活動簡報 : 台灣民間團體</li> </ul>
		FREE TALK 16:10~16:40 (豐見城市 漫湖水鳥・濕地活動中心)
2/12 (Sun)	上午	Work Shop 9:00~11:30 (豐見城市 漫湖水鳥・濕地活動中心) <ul style="list-style-type: none"> <li>●針對「向其他業界的推動」之研討</li> <li>・「向其它產業團體的推廣」的討論</li> </ul>
		有關分享平台(網頁)的建立經過之報告
		中 餐 (12:00~13:00)
	下午	整體協調會 13:00~16:00 (豐見城市 漫湖水鳥・濕地中活動心) <ul style="list-style-type: none"> <li>・有關於爾後交流事務的展望</li> <li>・標誌(logo)設計競賽</li> <li>・對於 2017 年交流事務的感想</li> </ul>

## 6 實施內容

### 6.1 開幕式・歡迎會

由主辦單位沖繩縣說明舉辦主旨，交流事務的目的與介紹沖繩縣的在海洋垃圾對策執行的成效，並介紹來自各地區的團體。

事前說明會後，將舉行歡迎會以增加交流深度。

- 2/9 (Fri) 13:30 於那霸機場第一航廈的會議室舉行本次交流會的開幕式，請在 13:20 之前至事前說明會會場集合。

會場：那霸機場國內線第一航廈 1 樓入境廳北側會議室 (A・B)

- 歡迎會將在事前說明會之後於同會場舉行。請在 17:20 之前至事前說明會會場集合。
- 歡迎會上將提供簡便餐點。



## 6.2 共同海岸勘查・「向其它產業團體的推廣」的案例紹介（2月10日）

### 6.2.1 共同海岸勘查

勘查地點：沖繩縣本部町新里地區的新里地周辺海岸

集合地點：7:45 於「沖繩ホテル（OKINAWA HOTEL）」飯店門口前集合

行程：

時間	行程
8:00~10:00	從飯店出發至勘查的海岸
10:00~11:30	於沖繩縣本部町新里地區的新里地海岸勘查
11:30~12:00	中餐
12:00~14:00	前往會場（

- 從勘查海岸地點至開幕式會場之間的移動有主辦單位安排的巴士接駁。
- 中餐由主辦單位提供

### 6.2.2 「向其它產業團體的推廣」的案例紹介



## 6.3 Workshop（2月11日）

集合地點：7:45 於「沖繩ホテル（OKINAWA HOTEL）」飯店門口前集合  
會場：漫湖水鳥・濕地活動中心

## 7 其他

### 7.1 出發

- 機票：電子機票會用 e-mail 傳送給各位相關人員，請確認後自行列印攜帶。

### 7.2 有關媒體的採訪・攝影等

- 開幕式與 Workshop 當日有相關的報社與大眾傳播媒體會到場做採訪。採訪的結果將會刊登在報紙，網頁 HP 等。在此先行告知敬請諒解與包涵。如不便接受拍攝或刊登照片，請事先與事務局聯絡。

### 7.3 住宿資訊

Okinawa HOTEL 沖繩ホテル	
地址	沖繩県那覇市大道 35
HP	<a href="http://www.okinawahotel.co.jp/">http://www.okinawahotel.co.jp/</a>
TEL	098-884-3191
交通	沖繩都市モノレール（ゆいレール）安里駅下車、徒歩7分
週邊地圖	
早餐	附早餐（7：00～9：30）

#### 7.4 攜帶物品

- 雨具（雨衣）
- 帽子
- 便於行動的鞋子
- 禦寒衣物
- 攜帶物品（除了換洗衣物，盥洗用具，日常藥品等參訪期間各自需要物品之外）
- 團體的介紹資料（海報或印刷物）
- 為減少垃圾的產生請自帶餐具蒞臨



#### 7.5 有關於其他費用

- 2/9 至 2/11 的住宿費由主辦單位負責結算。但，於飯店使用的個人外線電話，客房服務等的費用請再退房時自行結清。
- 飯店有提供免費的早餐，2/10、2/11 的中餐由主辦單位準備，除此之外的餐飲請自行處理。

#### 7.6 緊急連絡方式

- 海外交流事務期間如有緊急事務須連絡處理時，請以下面的負責人員聯絡。

日本 NUS 株式会社

江 俊賢 手機 0952-609-536

野上大介 手機① 080-9809-3891

手機② 090-1800-6707

後藤澄江 手機 090-8034-1893

策交流事务概要

<目 錄>

1 目的.....	1
2 参加对象团体 .....	1
3 迄今为止的活动概况 .....	2
4 关于 2018 年 2 月的交流事务 .....	3
5 行程表 .....	4
6 实施内容 .....	5
7 其他.....	7

1 目的

尽管在冲绳县的海岸漂流垃圾当中许多都是来自国外的垃圾，但来自本县内的垃圾也不少，尤其是人口较多的地区产生的垃圾，更是占了相当大的比例。有鉴于此，为了推动减少海漂垃圾的解决方案，需由地方相关人士针对海漂垃圾情况与解决方案共享信息，而普及和启蒙、环保教育方面的计划更是不可或缺，更重要的是必须培育及确保能够担此重任的人才。

此外，海漂垃圾不只是县内的问题，如果能与邻近国家和地区建立起共享信息、互惠合作的关系，在此基础上推动解决方案将可大幅度提升实施效率。

本交流事务的目的在于把交流的成果反映至相关地区的环保教育与普及启蒙等活动上，进而达成减少海洋垃圾产生的效果，希望各参与交流的地区都能实惠均沾、分享活动的成果。

2 参加对象团体

2017 年的交流事务参加团体如下。来自冲绳有冲绳县环境部环境整備课、冲绳县海洋垃圾产生减量对策 Working Group 成员；来自台湾则有台湾行政院環境保護署，新北市，基隆市政府，台湾清淨海洋行动联盟（以下, TOCA）等团体。另外，上海与福建的行政单位人员与民间团体与会。

### 3 迄今为止的活动概况

于 2015 年的交流事务中，依下列主题类别讨论出两地区想要共同努力推行的方案。各主题的主要方案如图 1 所示。

1.调查・研究	2.减少陆地上产生的垃圾
<ul style="list-style-type: none"> <li>●共同实施监控调查及共享信息</li> <li>●与邻近各国共享信息</li> <li>●实施微小垃圾调查及共享信息</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●减少观光业的垃圾</li> <li>●冲绳与台湾学生交流（海漂垃圾观察行程）</li> <li>●对非分解性产品课税</li> <li>●向媒体宣传</li> <li>●呼吁削减过度包装</li> </ul>
3.环境教育	4.持续并扩大净滩活动
<ul style="list-style-type: none"> <li>●建立冲绳・台湾交流网站</li> <li>●冲绳・台湾交流计划 『永保美丽海洋』</li> <li>●冲绳・台湾 梦之邮轮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●同日进行净滩活动</li> <li>●举办具主题性的净滩活动</li> <li>●举办海 LOVE in 台湾（海漂垃圾回收活动）</li> <li>●向行政单位提议给予实施净滩活动的企业相关奖励</li> </ul>

[由 2014 年度海外交流事务实施概要（日语版）制作]

第 1 图 2015 年冲绳・台湾海洋垃圾对策交流事务 由共同课题中选出方案

于 2016 年的交流事务中，针对第 1 图的“1. 海洋垃圾的调查・研究”跟“3. 环境教育”两个主题在减少垃圾的产生上具体的对策进行协调、讨论之后得到以下 3 点结论。

- ① 冲绳・台湾双方以相同的方式进行海滩废弃物监测调查。
- ② 海滩废弃物监测调查的项目中，针对**塑料瓶，塑料购物袋，聚氯乙烯塑料泡沫**做重点整理之后把改成果运用于推广环保教育与普及启蒙。
- ③ 建立海滩废弃物监测调查的结果与环境教育的案例的**分享平台（网页）**

2017 年的交流事务制定了监测调查方法并讨论了分享平台的内容，同时还为落实主题“2. 减少陆地上产生的垃圾”而讨论了“向其他业界推动”的可行性。

在此基础上，参会各方选取了今后希望“向其他业界推动”的活动方案。

#### 4 关于 2018 年 2 月的交流事务

2018 年的交流事务将具体探讨如何“向其他业界推动”，以此作为海岸漂流物控制措施的一环。

冲绳县和台湾的海岸漂流物多为塑料制品，如塑料瓶、塑料容器及塑料袋等。2017 年的交流事务将“向其他业界的推动”作为今后想要推行的方案进行了讨论。本次将从该主题中特别选取“在举办活动时减少使用一次性塑料容器”一项实施 Workshop。

就“在举办活动中减少使用一次性塑料容器”的成功案例来看，具体做法是将现场销售的餐饮容器从一次性塑料餐具更换为可回收再利用餐具，这一做法大大减少了活动现场的垃圾产量。

各类活动由于实施时间、对象物品和对象人员的范围有限，所以在垃圾减量措施的操作和管理上相对简单，且减量效果可用数据显示。除此之外，在举办活动时推行垃圾减量措施不仅可以直接减少垃圾产量，还可以对活动举办地区及参加人员起到普及启蒙的作用，实现良好的教育效果，比如让平时不关心垃圾问题的人群也可以有所察觉，继而产生问题意识等。因此，在 2018 年的交流事务中，我们将邀请迄今为止已在多场活动中实施垃圾减量的团体，请其分享经验，并通过 Workshop 探讨具体的实施办法。我们的目的在于：让参与本交流事务的各个机构和团体能够活用交流成果，在各自所在地区进一步开展垃圾减量措施，从而最终削减各地的海岸漂流物。

第 2 表 2018 年东亚地区海洋垃圾对策交流事务 实施项目

课 题	目 的	实施内容
调查·研究	由冲绳、台湾以及中国实施共同海滩废弃物监测活动，并将调查数据活用于环境教育与减少垃圾产生的推广活动上。	● 实施共同海岸调查
环境教育		● 分享平台（网页）的建立 有关创建分享平台（网页）的进展报告。
普及启蒙	针对“向其他产业团体的推广”的讨论	● “向其他产业团体的推广”的信息交换

## 5 行程表

月 日		活 动 内 容
2018 年 2/9 (Fri)	下午	开幕式 13: 30~17: 00 (那霸机场国内线航厦 1 楼入境大厅北侧会议室(A・B)) <ul style="list-style-type: none"> <li>●举办主旨, 交流事务的说明 : 冲绳县</li> <li>●交流基本方针的提案 : 冲绳县</li> <li>●冲绳县推行中的计划 : 冲绳县</li> <li>●上海・福建的活动简报 : 上海・福建省行政单位・ 上海・福建省民间团体</li> <li>●台湾的活动简报 : 台湾行政单位・台湾民间团体</li> <li>●JEAN 的活动简报 : JEAN</li> </ul>
		欢迎会 17: 30~19: 30 (那霸机场国内线航厦 1 楼入境大厅北侧会议室(A・B))
2/10 (Sat)	上午	共同海岸勘查 8: 00~14: 00 (冲绳县本部町新里地区 周边海岸 )
		中 餐 (11: 30~12: 00) (冲绳县本部町新里地区 周边 )
	下午	“向其它产业团体的推广”的案例介绍 14: 30~16: 00 (豊见城市 漫湖水鸟・湿地活动中心) <ul style="list-style-type: none"> <li>●关于可回收再利用餐具的普及启蒙活动 : アースの会</li> <li>●台湾的活动简报 : 台湾民间团体</li> </ul>
		FREE TALK 16: 10~16: 40 (豊见城市 漫湖水鸟・湿地活动中心)
2/11 (Sun)	上午	Word shop 9: 00~11: 30 (豊见城市 漫湖水鸟・湿地活动中心) <ul style="list-style-type: none"> <li>●针对“向其它产业团体的推广”的探讨  <ul style="list-style-type: none"> <li>・“向其他产业团体的推广”的信息交换</li> </ul> </li> </ul>
		有关创建分享平台(网页)的进展报告。 11: 30~12: 00 (豊见城市 漫湖水鸟・湿地活动中心)
		中 餐 (12: 00~13: 00)
	下午	整体协调会 13: 00~16: 00 (豊见城市 漫湖水鸟・湿地中活动中心) <ul style="list-style-type: none"> <li>・有关于尔后交流事务的展望</li> <li>・标志 (logo) 设计大赛</li> <li>・对于 2018 年交流事务的感想</li> </ul>

## 6 实施内容

### 6.1 开幕式·欢迎会（2月9日）

由主办单位冲绳县说明举办主旨，交流事务的目的与介绍冲绳县的在海洋垃圾对策执行的成效，并介绍来自各地区的团体。

开幕式说明会后，将举行欢迎会以增加交流深度。

- 2/9 (Fri) 13:30 于那霸机场第一航厦的会议室举行本次交流会的开幕式，请在 13:20 之前至事前说明会会场集合。

会场：那霸机场国内线第一航厦 1 楼入境厅北侧会议室（A・B）

- 欢迎会将在开幕式之后于同会场举行。请在 17:20 之前至开幕式会场集合。
- 欢迎会上将提供简便餐点。



## 6.2 共同海岸勘察・“向其它产业团体的推广”的案例介绍（2月10日）

### 6.2.1 共同海岸勘察

勘察地点：冲绳县本部町新里地区的新里地周边海岸

集合地点：7：45 于“沖縄ホテル（OKINAWA HOTEL）”饭店门口前集合

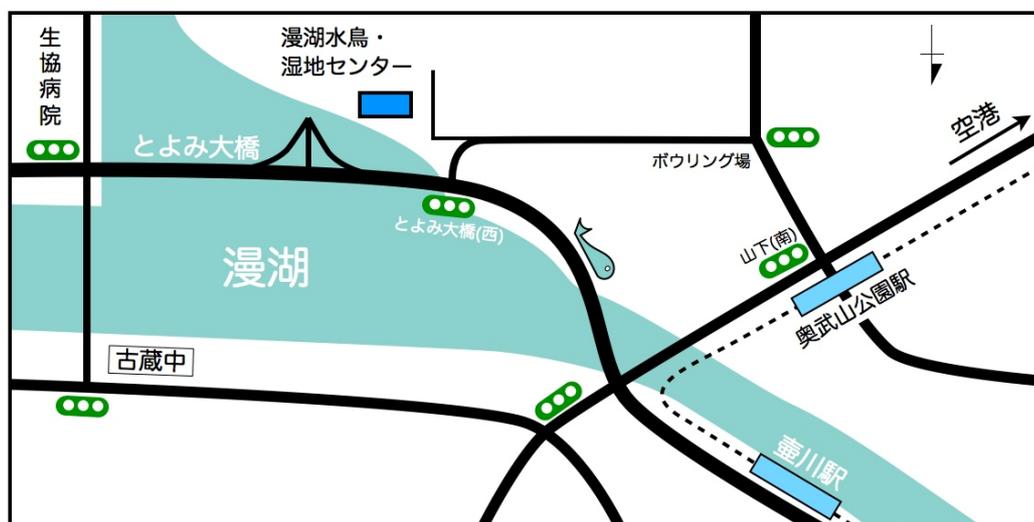
行程：

时间	行程
8：00～10：00	从饭店出发至勘察的海岸
10：00～11：30	于冲绳县本部町新里地区的新里地共同海岸勘察
11：30～12：00	中餐
12：00～14：00	前往会场（漫湖水鸟・湿地活动中心）

- 从勘察海岸地点至会场之间的移动有主办单位安排的巴士接驳。
- 中餐由主办单位提供

### 6.2.2 “向其它产业团体的推广”的案例介绍

“向其它产业团体的推广”的案例介绍・Workshop 会场 2/10（Sat）・2/11（Sun）  
漫湖水鸟・湿地活动中心（冲绳县）



## 6.3 Workshop（2月11日）

集合地点：8：30 于“沖縄ホテル（OKINAWA HOTEL）”饭店门口前集合

会场：漫湖水鸟・湿地活动中心

## 7 其他

### 7.1 出发

○ 机票：电子机票会用 e-mail 传送给各位相关人员，请确认后自行打印携带。

### 7.2 有关媒体的采访・摄影等

○ 开幕式与 Workshop 当日有相关的报社与大众传播媒体到场做采访。采访的结果将会刊登在报纸，网页 HP 等。在此先行告知敬请谅解与包涵。如不便接受拍摄或刊登照片，请事先与事务局联络。

### 7.3 住宿信息

<b>Okinawa HOTEL</b> 沖縄ホテル	
地址	沖縄県那覇市大道 35
HP	<a href="http://www.okinawahotel.co.jp/">http://www.okinawahotel.co.jp/</a>
TEL	098-884-3191
交通	沖縄都市モノレール（ゆいレール）安里駅下車、徒歩 7 分
外围地图	 <p>The map shows the location of Okinawa Hotel (沖縄ホテル) in Naha, Okinawa. The hotel is situated near the intersection of Daido Street and the Yui Rail line. The map includes the following landmarks and directions:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>Yui Rail line (ゆいレール YUI rail) running horizontally across the top.</li><li>Asato Station (安里駅) located above the hotel.</li><li>Makishi (← 牧志 MAKISHI) to the west and Omoromachi (おもろまち → OMOROMACHI) to the east.</li><li>Bank of the Ryukyus (琉球銀行 BANK OF THE RYUKYUS) located to the east of the hotel.</li><li>JA Okinawa (JA OKINAWA JA おきなわ) located to the west of the hotel.</li><li>Naha City Daido Elementary School (那覇市立大道小学校) located to the west of the hotel.</li><li>Lawson (LAWSON) located to the south of the hotel.</li><li>A north arrow (N) is shown in the bottom left corner.</li></ul>
早餐	附早餐 (7: 00~9: 30)

#### 7.4 携带物品

- 雨具（雨衣）
- 帽子
- 便于行动的鞋子 ※2/11 共同海岸勘查时用（活动时间为退潮时分，故不会下水）
- 御寒衣物
- 携带物品（除了换洗衣物，盥洗用具，日常药品等参访期间各自需要物品之外）
- 团体的介绍资料（海报或印刷物）
- 为减少垃圾的产生请自带餐具莅临



#### 7.5 有关于其他费用

- 2/8 至 2/11 的住宿费由主办单位负责结算。但，于饭店使用的个人外线电话，客房服务等费用请再退房时自行结清。
- 饭店有提供免费的早餐，2/10、2/11 的中餐由主办单位准备，除此之外的餐饮请自行处理。

#### 7.6 紧急连络方式

- 海外交流事务期间如有紧急事务须连络处理时，请以下的负责人员联络。

##### 日本 NUS 株式会社

江 俊賢	手机	0952-609-536
野上大介	手机①	080-9809-3891
	手机②	090-1800-6707
后藤澄江	手机	090-8034-1893